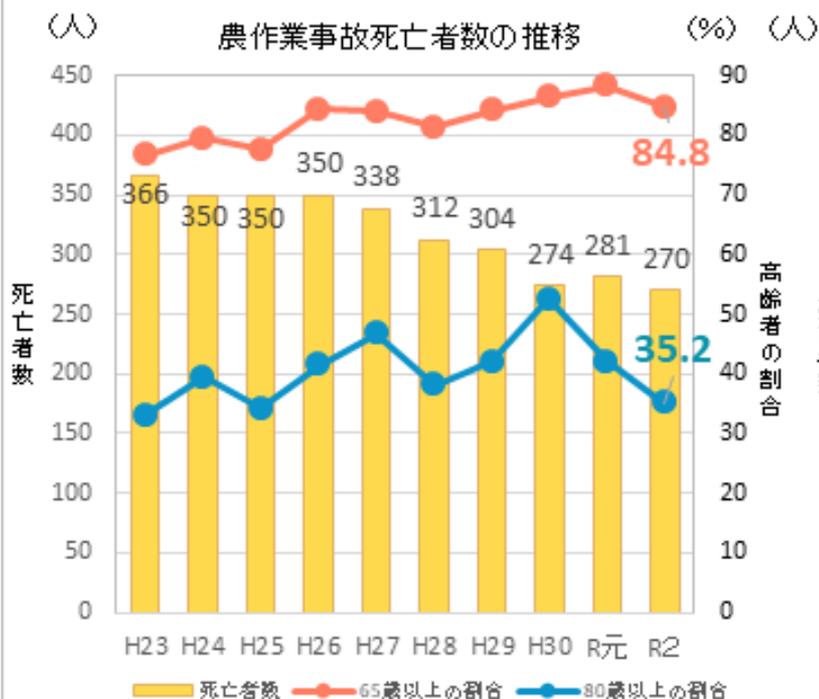


農業は、死亡率が高い！

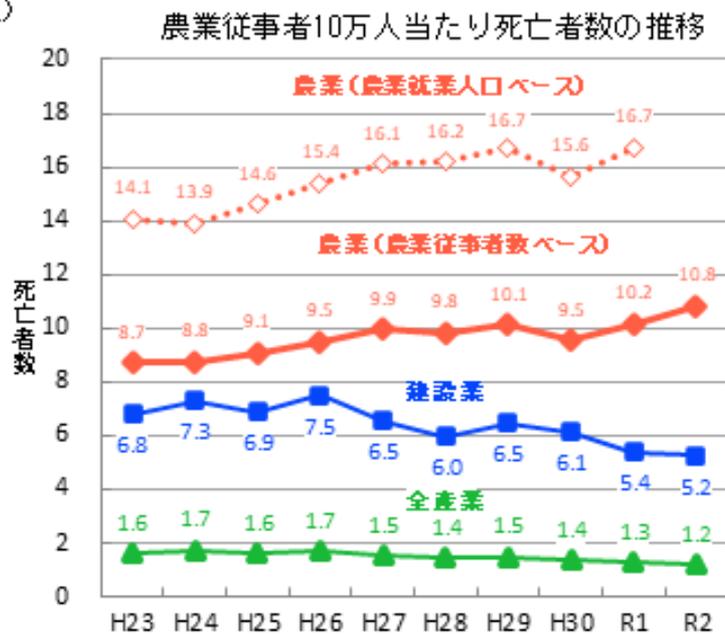
一般に「農業」と聞いて思い浮かべるイメージは、牧歌的、生命を育む、自然に親しむ、地方の良さ・・・などまず「危険!」と思う人はあまりいない、ところが

○ 農業は意外に危険な産業です

農業従事者10万人当たりの死亡者数は、建設業の約2倍程度となっており、全国で年間約300名近くの方が亡くなっています。(注)農業の就業人口10万人当たり死亡者数の算出に使用していた農業就業人口の調査が令和元年で終了したため、令和2年から新たに農業従事者数を使用して算出。



農作業死亡事故調査 (農水省)

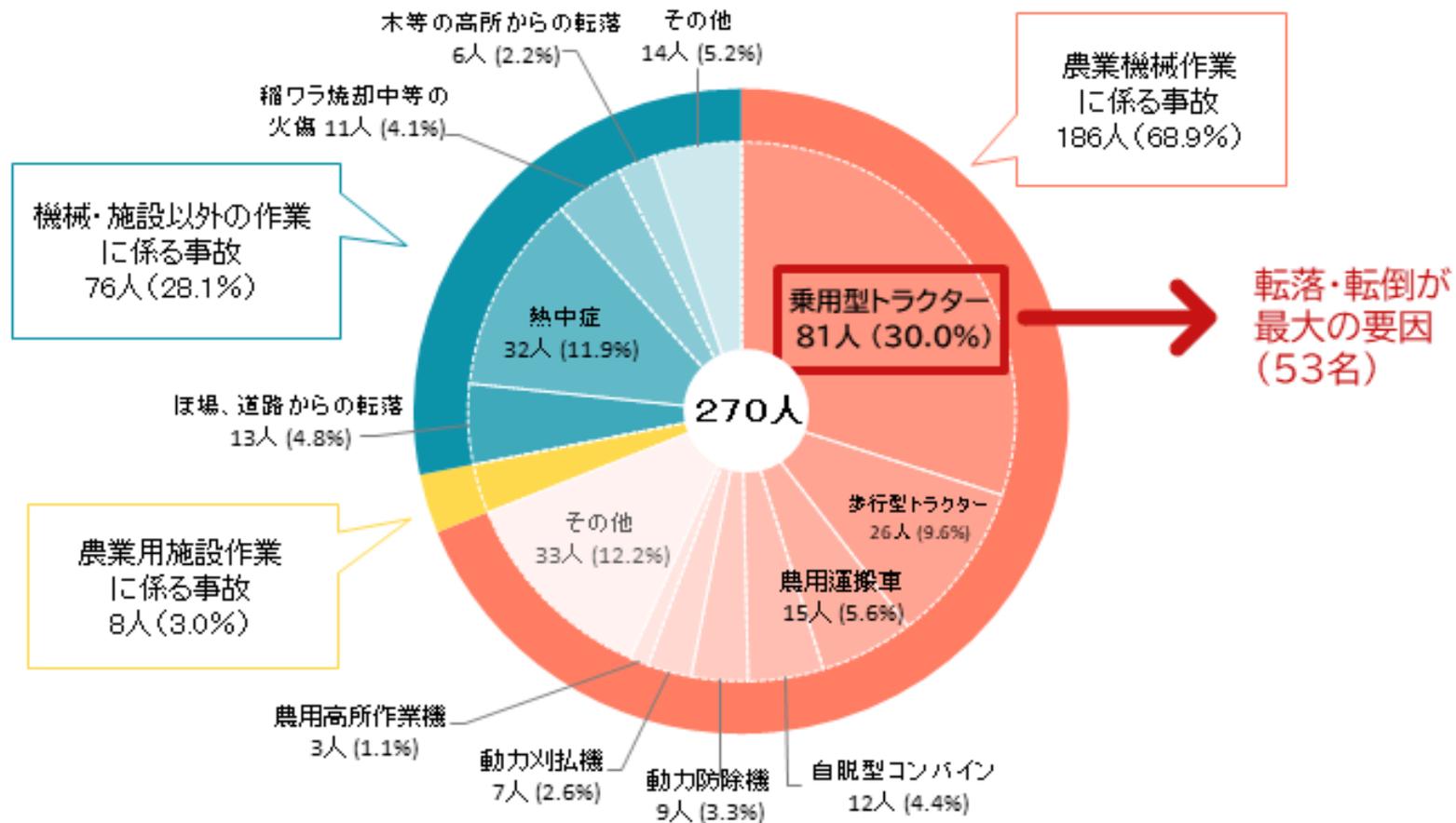


死亡者数 農業: 農作業死亡事故調査 (農水省)
他産業: 死亡災害報告 (厚労省)
就業人口 農業: 農林業センサス、農業機械化動向調査 (農水省)
他産業: 労働力調査 (総務省)

農作業事故は、農業機械によるものが2/3

○ 乗用型トラクターの転落・転倒で多くの方が亡くなっています

要因別の死亡事故発生状況（令和2年）



資料：農作業死亡事故調査（農水省）

農作業事故は、あなただけではなく、家族や地域にダメージ

○ 被災者の想いを教えてください

千葉県在住 当時50歳代の男性

ロータリに巻き込まれ、右足の感覚が全くなかった

【事故の原因】

- ・トラクターを小さな段差近くに停車したが、駐車ブレーキをかけずに降車した
- ・降車の際にPTOを切らなかった



実際の負傷の様子

【被災者本人のコメント】

「事故が起きるまで、全く危険の予測がつかなかった。普段通りの作業なので慣れており、危険はないものと思っていた。」

露地野菜中心、約2ha経営
JAの部会長を歴任し、ラジオ
出演経験もある地域の中心
的存在

▶ 事故をきっかけとして
本人が**離農**

▶ ・近所の親戚や妻が営農を引き継ぎ
・医療費（生命保険のみ加入）と
経営損失が大きな負担

※ 被災者本人が、自分と同じ目に遭う人を一人でも減らせればと願い、情報を提供してくれました

農作業事故は、自分のことではないとの気持ち

- 農作業死亡事故の発生、年間300件前後
- 農業者単位人数あたり事故死亡者数、建設業の2倍、全産業の10倍
- 傷害事故は推計この数百倍（JA共済連の支払率では傷害事故は死亡事故の約270倍）

➡ このように事故が多い・誰の身に起きても不思議ではない

➡ しかし、人は不吉なことは考えたくない「まさか、大丈夫」

➡ これを**正常性バイアス**という

仮にJA共済連の支払い割合比率で傷害事故が発生しているとする・・・

1人1年当たり農作業死亡事故発生率=0.0108% (農林水産省統計)
推計傷害事故発生率=2.87% (共済連比率を乗算)

20歳から80歳まで60年間農業に従事したとすると

1人一生当たり農作業死亡事故発生率=0.648%
推計傷害事故発生率=172.2%

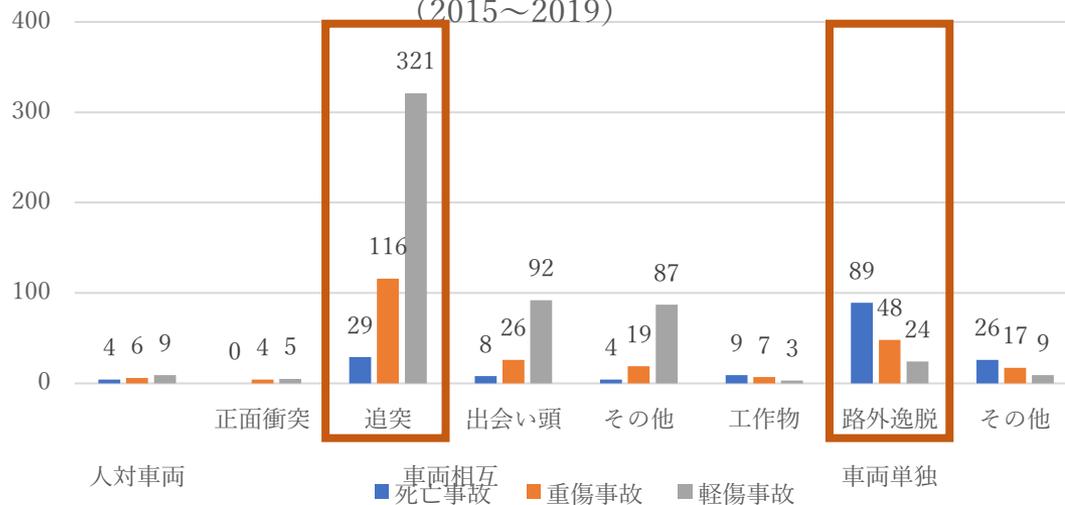


一生に2回は保険金をもらうクラスのケガをしている

死亡数1位のトラクター：シートベルトで死亡率1/8！

- 最近、警察データから道路上の農業機械事故を取り出し集計
- そのなかにシートベルト着用・非着用のデータあり
- それで分かったことは、シートベルト着用により死亡率は1/8に

農耕作業用特殊車の事故類型別交通事故件数
(2015～2019)



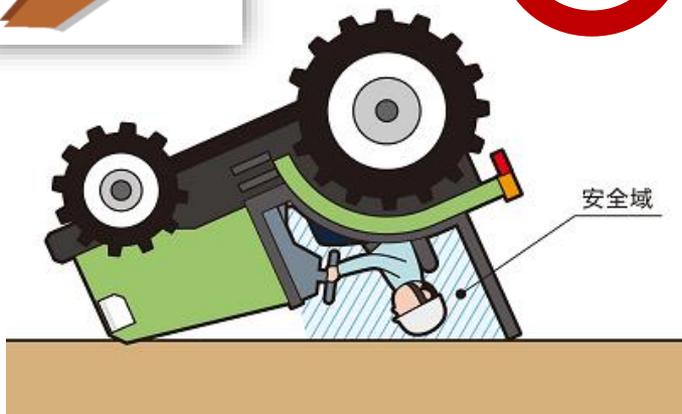
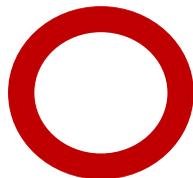
資料：(公財)交通事故総合分析センターのデータを日本農業機械化協会が集計したもの
警察組織が掌握している道路上の事故データのなかから「農耕作業用特殊車」が関与しているものを抽出して集計している

農耕作業用特殊車乗員のシートベルト着用の有無ごとの死傷の状況
(平成27～令和元年)

	死亡者	重傷者	軽傷者	合計
シートベルト着用	3 (3.2%)	10 (10.8%)	80 (86.0%)	93 (100%)
非着用	148 (24.5%)	175 (29.0%)	281 (46.5%)	604 (100%)
不明	5 (10.2%)	24 (49.0%)	20 (40.8%)	49
合計	156	209	381	746

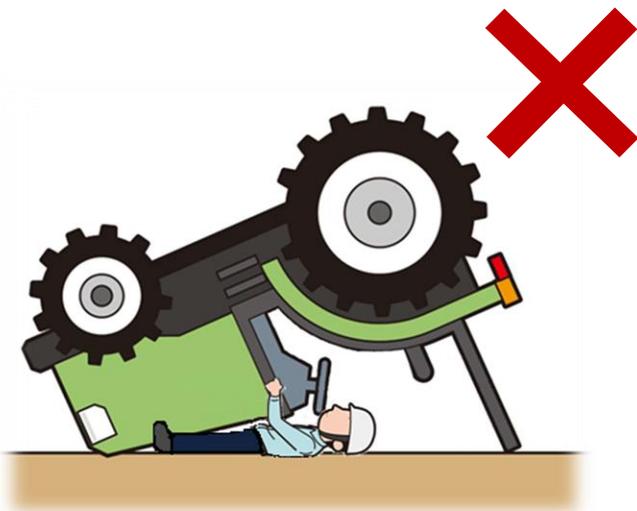
(公財) 交通事故総合分析センターの集計結果より作成

シートベルトをしていれば安全域から飛び出さない



- シートベルトをしていれば、転倒しても助かる可能性がアップ
- ヘルメット装着でさらに安全

- 可倒式フレームを倒したまま運行・作業は絶対しないこと
- ちなみに、フレームのないトラクターは買い換えを



一般社団法人 日本農業機械化協会のご案内



農作業安全
キャラクター
葉月このは

○最近の主要な業務

◆農林水産省の助成・委託などによる農作業安全への取り組み



安全指導者の育成
昨年度、全国で3700人

◆ロボット農機の安全使用基準策定



◆中古農業機械の査定士制度の運用



◆各種資料の頒布



安全ポスター



各種テキスト

◆イベント開催



農業機械化フォーラム



高齢者使用農機の安全点検

農作業安全十訓

自分だけは大丈夫、そんなわけはあり得ない

何か起こればまずもって、エンジン停止と心得る

防具・保護具は全ての基本

服の裾、ひらひらタオルが大ごとに

トラクター、シートベルトは命綱

夜道では、ないと追突反射材

通りみち、傾斜路・雑草・曲がり角

組での作業は合図を決める

暑いとき、水分・塩分・木かげで休憩

ケイタイ携帯、居場所も言って

安全ルールはみんなで議論、黙って分かるは夫婦もない

ご清聴、ありがとうございました